

INTER KYOTO

インターキョウト

2004.1.15 No.20

社団法人京都府情報産業協会
発行：広報委員会

会長直言

(社)京都府情報産業協会 会長 北村 昱

景気動向は相変わらず見通しにくい時代ですが、技術の進歩は急速であることは明白であり、予測もつきやすいものです。

中でも、ITの日進月歩は万人の認めるどころであり、とりわけ個人や家庭に密着したケータイ、ゲーム、家電などへの展開は目を見張るものがあります。

これらはすべて情報処理技術・コンピュータソフトウェアなしには動かないものばかりです。そして、出来上がったものを利用する人口は爆発的に増えつつあります。

ところが、これほど急速に増大しているIT利用の中で、ユーザーの要求に応える仕組みを考えたり、ソフトウェアそのものを作り出せる人口は少ないままなので、こちらの増強こそが情報産業界に課せられた社会的要請だといえます。

このような時代の要請に応えるためにも、当協会の強みを生かして今年もまた会員各位が協力し合いながら若年技術者・中堅管理者の育成に注力し、府内地域産業の情報化促進に貢献するという事業活動に取り組みましょう。



情報 コラム

3

「第3回ケータイ国際フォーラム」 アジアとケータイ～本格化するユビキタス社会～

京都商工会議所 産業振興部

ICT (Information & Communication Technology) の飛躍的な発展により本格的なユビキタス時代が到来しようとしています。京都が発信した「ケータイ」は携帯電話のみならずあらゆるモバイル通信を総称するキーワードとなりました。まさに幅広い産業分野で成長を続けているケータイ産業は、新しい豊かな社会の到来を促しつつあります。そして京都には、独創的なアイデアと技術で業績を伸ばすケータイ関連企業が多く集まっています。京都商工会議所では、その集積をさらに高め活性化し、この分野で世界をリードするため京都府はじめ関係機関との連携により2002年からわが国初の本格的な「ケータイ」関連ビジネスイベントである「ケータイ国際フォーラム」を開催してきました。

来年3月17～18日にパルスプラザを主会場に開催の「第3回ケータイ国際フォーラム」では「アジアとケータイ～本格化するユビキタス社会～」をテーマとし、世界で最もケータイ産業の発展が目覚ましい中国との連携を最重要課題と位置づけています。中国や国内企業のトップによるカンファレンスをはじめビジネスや技術に関するセミナー・IT総合見本市などを通じ、中国の企業家と共に今後のケータイ産業のあり方やケータイによるライフスタイルの変化について、その展望を探ります。

京都発オール関西の取り組みとして、ケータイに関する最先端の人と情報が集い多彩な交流とビジネスの場を提供してきたこのフォーラムに、今、中国から熱い視線が注がれています。年間新規加入6千万台、2004年には3億2千万台に達する携帯市場を擁する中国最大の製造拠点である天津市（経済技術開発区）から、また情報通信R&Dの最大の集積地である北京市（中関村科技苑）からの参加と第4回フォーラムの中国における開催招致です。

京都の魅力を活かし発展するケータイ国際フォーラムが、京都そして関西産業の活性化に貢献することを願っています。

詳しくは：ケータイ国際フォーラム<http://www.itbazaar-kyoto.com/forum/>

経済産業省情報化月間協賛

京都情報化フォーラム
開催

(平成15年10月28日)

講演会Digest

ユビキタス・コア技術の最新動向～RFタグの種類と用途事例～



凸版印刷 パッケージ事業本部 関西事業部企画促進本部 第一部長 山田 均氏

RFタグとは、無線通信を利用した非接触による自動認識技術を使った製品で、極小ICチップの中に固有情報を詰め込み、これをリ

ーダで読みとることによってさまざまな用途に役立てようというものです。わが国の「e-Japan戦略」においても、IT先端社会を実現するための重要なツールとして位置づけられており、国際規格の標準化が進めば2010年には80兆円規模のビッグ市場に成長するといわれています。

RFタグ用のICチップは、データを何度でも書き換えることができるほか、電波通信なので遮蔽物があっても通信が可能。また、複数同時にデータの読みとりができるというメリットがあります。自動車業界では、イモバイザーと呼ばれる無線タグを埋め込んだ盗難防止システムが実用化されているほか、福祉業界でもID番号を書き込んだ無線タグを歩道に埋め込んで、視覚障害者を安全に誘導する実験を行っています。凸

いつでもどこでもネットワークに接続でき、必要な情報をすぐに取り出せるユビキタス社会がすぐそこまで訪れています。平成15年度の京都情報化フォーラムでは、凸版印刷の山田均氏を講師に迎え、ユビキタスのコア技術を担う「RFタグ」について、その市場動向や用途事例、今後のビジネス展開などをお話いただきました。会場には多数の参加者が詰めかけ、講演終了後も熱心に質疑応答が交わされるなど、関心の高さが伺えました。

版印刷やNECなど約170社が加盟する「ユビキタスIDセンター（東京）」では標準タグの認定が進められており、将来的には顧客管理や物流管理、セキュリティ、情報家電、道路・交通分野など、社会生活のさまざまな領域でその用途は拡大していくでしょう。

今、アイデア次第でビジネスチャンスは大きく広がろうとしています。最先端技術であるRFタグと、京都の歴史・文化資産をうまく結びつけることによって、京都ならではの新しいビジネスが生まれ、それが地域経済の活性化につながっていくことを期待しています。

委員会
だより

経営委員会 木村道也委員長

当委員会では、年間を通して3つの分科会が活動しています。その1つである情報交換広場は、会員各社でのさまざまな課題を持ち寄ってフリートークし、今後の経営課題解決のための参考にしていただく会です。今年度は「給与体系について」をテーマとして8月に開催いたしました。過去の反省を考慮し、より有意義な討議ができるように事前にアンケート調査を行い、集計結果を資料として12社17名の会員により活発な討議を行いました。各社各様の制度・方法が発表され、他社の状況を知る上で大変参考になったのではないのでしょうか。大きなテーマであったため、掘り下げて討議する時間がなかったと思いますが、当分科会としては今年度中にもう一度開催し、同一テーマでも少し具体的な内容で討議を行いたいと考えています。（中谷 博志副委員長・記）

会員だより

会員企業、社員の皆さんのユニークな取り組みやトピックスを紹介するコーナー。
我こそはと思われる方は、自薦・他薦を問いませんので、ぜひ事務局までお申し出ください。

元気印の企業紹介

(株)システム ディ

いち早くPCに着目し、業務ソフトを開発・販売

1984年の創業以来、当時は高価なオフコンで行われていた各種事務処理がPCへと移行することを見越して、汎用性の高いPC用業務支援パッケージソフトの開発・販売業務を一貫して行ってきた(株)システム ディ。

1986年に発売を開始し、現在では全国500校以上の導入実績を誇る学園事務用アプリケーションソフト「キャンパスプランシリーズ」に加え、新たに2001年からはスポーツクラブ運営支援システム「Hello」、また、2003年9月からは福祉施設・事業所向け業務支援システム「e-すまいる」と市場を拡大しつつ、順調に成長しています。

同社の武器は、自社オリジナル製品と強力なソリューション・コンサルティング力。競争の激しいソフト業界において、対象市場のすべてにおいてトップシェアを維持することをテーマに、システム ディの挑戦はこれからも続いていきます。

京都市中京区烏丸通三条上ル

TEL 075-256-7777

Mail info@systemd.co.jp

URL <http://www.systemd.co.jp>

(株)ユニシス

プラス の提案型ソフト開発を实践

刻々と変化し続ける情報サービス産業の世界にあって、実力派のソフト開発集団として信頼を重ねている(株)ユニシス。これまで、FA関連の制御システムや携帯電話によるデータ管理システム「oTeMoTo」、また鉄道各社で使われている乗越精算機の制御ソフトなど、ますます多様化する顧客ニーズに合わせた付加価値の高いソフトウェアの開発を行ってきました。

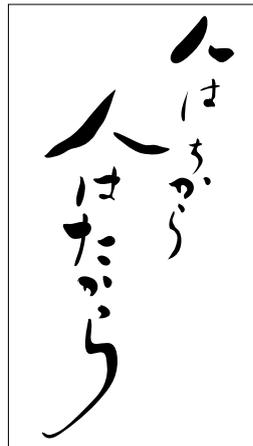
「社員一人ひとりのモラルとスキルを高めていくために、新しい技術にチャレンジしながら、提案型のビジネスを目指していきたいですね」と佐々木社長。同社では、ソフトウェアの開発・動作環境“.NET”や、最新の言語Java、C++、C#などを取り入れることによって、仕事を通して積極的な人材育成を進めています。

平成15年11月には、烏丸御池に新しく本社を移転し、心機一転スタートを切ったユニシス。今後の活躍に期待が高まっていきそうです。

京都市中京区車屋町通御池下ル アーバネックス御池ビル東館

TEL 075-255-6262

Mail office@uniuni.co.jp

URL <http://www.uniuni.co.jp>

我が社のイチオシさん!



中川 涼子さん(アド・プロヴィジョン(株) 営業開発部 WEBデザイナー)

経験を積むほどにハードルは高くなっていく

Webに限らず“ものを作る”仕事は、見た目の華やかさとは裏腹に、非常に地味で奥深い側面を持っています。しかし、仕事の達成感や充実感、あるいは自分の作ったものが世の中に飛び出ていくことで得られる“面白さ”は、ほかではなかなか味わえない素敵な仕事だと日々感じています。デザインができるだけのデザイナーより、ディレクションができるとか、プログラムを理解できるといった+ を有しているほうが、仕事を進める上で断然有利な状況になってきています。

今年の阪神タイガースの優勝は、チームの大ファンであり、熱い声援を送ってきた私にとって非常に嬉しいものでした。これからの新チームを新しい監督はどのように作っていくのか? 私なりの視点で眺め、ほかのスタッフとのコミュニケーション作りにも役立てたいと思っています。プロフェッショナルとして、これからも多角的な視野とWebの幅広い知識、自分のコミュニケーション能力を身に付け、個性や感性を生かせる「やりがい」のある仕事をしていきたいと思っています。

協会だより

正会員 51社
賛助会員 8社

事業推進委員の積極的な会員増強運動により成果を得ることができました。会員の皆様も入会紹介、勧誘にご協力下さい。

第6回 親睦ボウリング大会を開催

団体は総合システムサービスBチーム、個人は深松 正さん(オムロンソフトウェア Aチーム)に栄冠

去る平成15年11月5日、恒例の第6回親睦ボウリング大会がMKボウル上賀茂で開催され、25チーム75名の参加者が熱戦を展開しました。特に、京都コンピュータ学院チームはお揃いのユニフォームで注目を集めていました。

団体の部は 総合システムサービスBチーム、また個人

団体の部	優勝	総合システムサービスB	985点
	準優勝	オムロンソフトウェア A	960点
	3位	京都電子計算 A	922点



の部はオムロンソフトウェア Aチームの深松 正さんがそれぞれ優勝。競技後、表彰パーティーに移り、須磨事務局長の音頭で乾杯の後、入賞者の表彰を行いました。上位入賞者の方々は次のとおりです。

個人の部	優勝	深松 正	377点(オムロンソフトウェア A)
	準優勝	竹谷知久	360点(総合システムサービスB)
	3位	山口尚輝	357点(オムロンソフトウェア B)

団体優勝 喜びの声



竹谷 知久さん 初めての参加で、チームの足を引っ張らないよう精一杯頑張った結果、団体優勝と個人準優勝という素晴らしい成績を収められ、大変嬉しく思っています。この調子でプロを目指します。(ウソ)

國光 宏晃さん 運にも恵まれ、優勝することができ、とても嬉しく思います。ボウリングは健康にいいスポーツなので皆さん週一ぐらいのペースでボウリング場へ通いましょう。(決してボウリング場の回し者ではありません)

本郷麻咲美さん スコアが伸びず、メンバーのお荷物になってしまった感が拭えませんが、昨年持ち帰ることができなかった団体優勝カップを手にすることができ、非常に嬉しく思っております。次回は個人優勝を目指します。

個人優勝 喜びの声



オムロンソフトウェア 深松 正さん 当日、私は迷っていました。リスタイ(右手につけるロボコップみたいな奴)をつけるかどうか…。親睦の席に「本気」を持ち込んで水を差してしま

わないかと。結局、同じものをつけている人が他にもおられたのでつける決心をし、「本気」で投げたわけです。あとで気付いたのですが、「参加者」と思っていた人は京情協とはまったく関係ない一般のボウラーでした。そんなこんなでメンバーにも恵まれ、普段以上の成績が残せました。食事会でも新たな出会いがあり、この機会を十二分に味わった一人だったのかなぁと感慨にふけていました。事務局の皆さんに感謝しています。

お知らせ

本年6月10日(木)~12日(土)
ANIA 関西大会開催!

全国地域情報産業団体連合会(ANIA)加盟の地域の情報産業の仲間たちが一堂に会し、関西地域の情報産業の訴求と全国的な経営者交流を行うことになりました。この関西大会開催に京情協としても協力し、参加します。皆様方のご理解、ご協力をお願いします。

関西大会のテーマ:「関西からの復権」
全体プログラム(案)

- (6月10日)ANIA委員会・前夜祭
- (6月11日)ANIA総会・ANIA関西大会・懇親会
- (6月12日)(京都市内)観光・ゴルフ(瀬田ゴルフ(案))

オープンセミナー開催

テーマ 「情報セキュリティセミナー」
日時 平成16年2月18日(水)午後2時~
場所 平安会館
講演

- 第1部「宇治市の住民情報流出の顛末と、その後のセキュリティ構築」
講師 関西情報センター 部長 木村 修二様
(元宇治市情報システム課長)
- 第2部「情報セキュリティ・マネジメントシステム (ISMS) 適合性評価制度と構築について」
講師 (株)アシスト シニアコンサルタント 野田 義晴様

平成15年度「SE研究会」を開催しています(技術委員会)

今年度は「開発効率を上げるには…」をテーマとし、会員各社からSEの管理者クラスの方々にお集まりいただき、情報交換会形式として、第1回目を平成15年12月17日に開催しました。

今後、1月16日(金)午後6時~8時、2月20日(金)午後6時~8時と、計3回開催します。(場所:平安会館 金閣の間)

『情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 適合性評価制度』の認証取得

ケーケーシー情報システムは、平成15年11月21日『情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 適合性評価制度』の認証を取得しました。

編集後記 本誌は、本年より年4回の発行になり、報告やお知らせがタイムリーに掲載できるようになりました。会員からの掲載依頼も少しずつ増加しておりますが、広報委員会としてはもっと活用していただき、新商品、資格取得、事業所設立など、会員相互の情報交換に役立つよう期待しています。本年が会員企業の皆様をはじめ本誌を読んでいただいている全ての方々にとって輝かしい年でありますように。